

広
報

大洲

No.16

— おおず —

きらめき創造 大洲市

— みとめあい ささえあう 肱川流域都市 —



肱川の春の風物詩、「臥龍の渡し」が運航を始めました。5月末までの土曜・日曜・祝日の午前10時から午後4時まで楽しむことができます。

5
2006

平成18年5月号

- ☆当初予算 P4～5
- ☆市職員人事異動 P6～9
- ☆市行政改革大綱・集中改革プラン P12～13
- ☆肱川水防演習 P15
- ☆「税」の豆知識 P18

発行／大洲市役所 編集／総務課
〒795-8601 大洲市大洲690-1 ☎24-2111

100% PRINTED WITH SOY INK
広報おおずは古紙の配合100%の再生紙と環境にやさしい「大豆インキ」を使用しています。

平成18年度基本方針 財政健全化への初年度

3月定例市議会は3月8日から27日までの20日間で開催されました。予算関係29件（原案可決）・条例関係31件（原案可決）・人事案件1件（同意）・その他18件（原案可決・承認・受理）・請願3件（不採択）・陳情2件（採択・趣旨採択）

指定管理者制度

市有施設の管理運営に指定管理者制度が導入されました。対象施設は次のとおりです。
・大洲市総合体育館



▲本会議最終日（3月27日）の議案等の採決

人事案件

人事案件について、議会の同意を受けた人は、次のとおりです。（敬称略）

人権擁護委員
下田 美澄（長浜町下須戒）

- ・大洲市老人デイサービスセンター若宮
- ・大洲市老人デイサービスセンター東大洲
- ・大洲市障害者デイサービスセンター東大洲
- ・大洲市老人デイサービスセンター長浜
- ・大洲市脇川基幹集落センター
- ・大洲市林業総合センター
- ・大洲まちの駅「あさもや」
- ・大洲市道の駅「清流の里ひじかわ」
- ・大洲市交流促進センター「鹿野川荘」
- ・河辺ふるさとの宿
- ・交流館才谷屋
- ・坂本龍馬脱藩之日記念館

平成18年度の重点施策・目標

提案説明

市民の意見を反映した

新市総合計画を策定

○大洲市総合計画の策定
新市まちづくりの基本構想を定める大洲市総合計画については、新市の計画的な発展と住民福祉の向上を図ります。

○国際化に対応できる人づくり
中学生を対象とした海外派遣事業を実施し、国際感覚の豊かな人材の育成を図ります。

○男女共同参画社会づくり
女性の能力活用や地位向上を図るため、女性塾や女性団体連絡協議会などの活動を支援します。

生涯にわたり健康で
生きがいのある自立した生活

○高齢者福祉
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、利用者ニーズの把握とサービスの充実を図めます。

○障害者福祉
身体・知的・精神の障害者サービスが一元化されることとなり、適切な制度運用に努めます。

○児童福祉
大きな社会問題となっている児童虐待については、大洲市要保護児童対策地域協議会を設置し、児童虐待の未然防止と早期発見に努めます。

検診の充実や受診率の
向上を図り疾病の予防

○生活習慣の改善
健康情報を総合的に管理するデータバンクの活用等による保健サービスの向上により、健康増進に努めます。

○高度で適切な医療の提供
市立大洲病院では、最新の医療機器を計画的に導入するなど医療体制の充実に努めます。

○安全で良質な水道水の供給
蔵川地区において2カ年事業で簡易水道の整備を進めます。

○脇川の清流づくり
生活排水など身近なところから河川の水質浄化と河川環境の保全に努めます。

地域の活力を高め、
地域全体の生活の向上

○農業
中山間地域の耕作放棄地の発生防止と農地の多面的機能を維持するため、中山間地域等直接支払交付金の運用に努めます。

○林業
「地産地消の家建設促進事業補助金」により、地元産材による木造住宅づくりを推進し、木材需要の拡大を図ります。

○水産業
榊生漁港の整備を進めるなど漁港や漁礁などの整備をしま

3月定例市議会

施策方針

大洲市長 大森隆雄

昨年4月に「行政改革推進課」を立ち上げ、総務省指針に基づき行政改革大綱の策定と平成21年度までの具体的な取り組みを明示した「集中改革プラン」の策定に取り組んで参りました。また、本年1月に作成した中長期財政見直しによると平成18年度から平成21年度までの4年間の財源不足額は43億4千万円と見込まれ、これをいかに乗り越えていくかが行政改革の目指すところであり、また、策定中の行政改革大綱及び集中改革プランにおいては、21年度までの実質4年間の改革・改善目標額を歳出削減・歳入確保に合せて29億3千万円を見込んでいます。さらに不足する14億1千万円については、各部各課における予算執行時の工夫

及び経費節減の努力目標とし、基金からの繰り入れを極力抑え、平成21年度からは基金への積み立てが可能になるように取り組んで参ります。このように市政を取り巻く状況は非常に厳しく、不透明であります。しかし、「合併してよかった」と言えるまちづくりを推し進めるためには、行政と議会、行政と市民の皆様とが、いかに協力し、連携していくかが重要であります。先般開催されました地元を紹介する30秒CM「シャール」ふるさとCM大賞EHIIME「大賞」に輝き、9月までの間に200回にわたりテレビ放映されることになっていきます。中身の



を見ますと子供から大人まで、男女を問わずに一緒になって市内を駆け抜ける姿は、これが大洲市の行政にも相通ずるところがあり、私も元気をもらった感があります。市政を預かり2年目、職員とともに英知と創意を結集してこの難局を乗り越えてまいる決意でありますので、今後とも市民の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

す。

○商業・観光振興

「株式会社ゆうとびあ河辺」の経営への関与を高め、河辺地域の地域振興を図ります。また、大洲拠点地区や長浜拓海地区では、企業立地を促進するため、道路などのインフラ整備を進め、雇用の確保と地域の活性化を図ります。

大洲城天守閣が復元から3年目を迎え、記念イベントを開催し、イメージアップによる観光振興と地域活性化に努めます。

快速で機能的な都市活動を

実現するための基盤整備

○都市計画

都市計画マスタープランにより新市の将来像を明確にし、新しい都市づくりの指針とします。

○治水対策

下流域の大和(郷)地区などの河川改修に合わせて土地区画整理事業に取り組むほか、久米川の改修についても県と連絡を密接にしながら早期完成に向けて協力していきます。

○平野運動公園野球場

フェンスやバックネットを改造するとともに、老朽化が著しいスコアボードや観客席を増設するなど、幅広い利用が可能な施設を目指して、2カ年事業により改修します。

○市営住宅

市内の市営住宅は団地数76団

地、管理戸数は千戸を超え広域化しています。地域間バランス等に配慮した住宅マスタープラン等を策定して、住宅施策をまとめていきます。

災害情報を迅速・正確に市民の皆様へ伝達

○防災行政無線

新市全域における効率的なシステム等の構築に取り組んでいきます。

○自主防災組織

地域の実情に配慮した組織化に努めていきます。

学校教育や生涯学習で地域の特性を生かした人づくり

○アスベスト対策

平成17年度中に5施設のアスベスト除去工事をしましたが、残る3施設についても除去工事を実施します。

○市民スポーツの振興

8月12、13日の2日間、四国アイランドリーグ公式戦が開催されます。愛媛マンガリンパイレーツと市内小中学生との交流が予定されており、スポーツの振興をおとした地域活力づくりに努力します。

○公民館学級・講座

新規事業として独身男女のふれあい交流事業を実施し、交流の場づくりを推進します。

平成 18 年度当初予算

財政健全化を最優先とした緊縮予算編成

一般会計 227 億円	(対前年同期比 7.1% 増)
特別会計 183 億 4,604 万円	(対前年同期比 5.3% 増)
企業会計 54 億 1,377 万円	(対前年同期比 4.7% 減)
総 額 464 億 5,981 万円	(対前年同期比 6.1% 減)

用語解説

歳入

地方交付税：国から大洲市に配られるお金（使い道は市が決めることができます）

市 税：皆さんから市に納められたお金

市 債：市が借り入れたお金

歳出

民生費：主に福祉の充実のために使うお金

公債費：市の借入金の元金・利子などの返済に使うお金

土木費：道路や河川などの整備のために使うお金

衛生費：衛生的な生活環境のために使うお金

平成 18 年度の各会計別予算規模

区 分	当初予算	対前年比
一般会計	2,270,000 万円	7.1%
国民健康保険	532,014	1.8
国民健康保険診療所	8,543	△ 7.3
老人保健	686,813	△ 3.1
介護保険	368,121	3.4
介護サービス事業	2,539	2.1
簡易水道事業	53,588	116.6
港湾施設事業	1,680	4.6
土地取得造成	656	0.5
土地区画整理事業	14,552	1853.5
住宅新築資金等貸付事業	4,357	△ 13.8
農業集落排水事業	2,874	△ 16.4
公共下水道事業	155,512	51.5
駐車場事業	2,457	△ 1.6
温泉事業	578	47.4
商業集積施設管理	320	3.2
小 計	1,834,604	5.3
特別会計		
水道事業	140,866	1.9
工業用水道事業	4,327	22.5
病院事業	396,184	5.5
小 計	541,377	4.7
企業会計		
病 院 事 業	396,184	5.5
小 計	541,377	4.7
合 計	4,645,981	6.1

総務費

○市勢要覧を作成します	441 万円
○市総合計画策定のための経費です	556 万円
○滞納整理支援システムを導入します	2,500 万円
○愛媛地方税滞納整理機構への負担金です	675 万円
○ガードレールなど交通安全施設を整備します	900 万円
○地域イントラネットの管理経費です	5,632 万円

農林水産業費

○中山間地域の農地の維持、保全や耕作放棄地の拡大防止を図るため、直接支払交付金で支援します	8,446 千円
○新谷の一部と長浜町沖浦の一部の地籍調査等を行います。	1 億 3,634 千円
○農道の改良舗装を行います	4,389 千円
○地元産木材の需用拡大を図るため、地産地消の家に対して補助金を交付します	300 万円
○櫛生漁港に西一文字防波堤を整備します	1 億 34 万円
○稚魚貝中間育成や放流事業などの支援をします	502 万円

議会費

○議員報酬や市議会の運営経費です	2 億 5,597 万円
------------------	--------------

民生費

○敬老年金や敬老会などの敬老事業を支援します	4,363 万円
○身体障害者、知的障害者、障害児の生活を支援します	5 億 6,017 万円
○市内の公立保育所を運営するための経費です	10 億 504 万円
○大和保育所を建設します	1 億 2,323 万円
○児童手当、特例給付を支給します	2 億 6,570 万円
○国保会計への繰出金です	4 億 8,482 万円
○老人保健会計への繰出金です	5 億 3,259 万円
○介護保険会計への繰出金です	5 億 4,247 万円

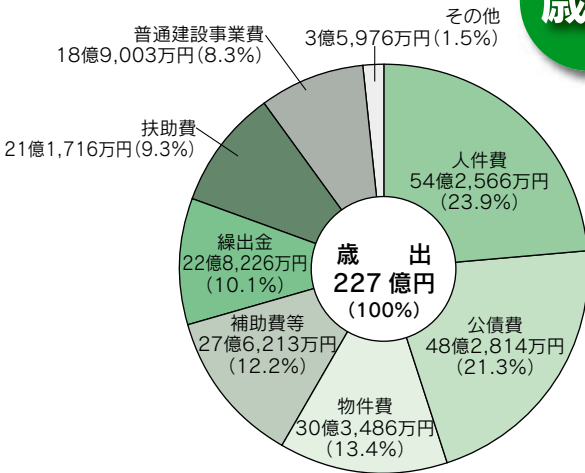
商工費

○商工団体の育成やスタンプ事業などに支援します	2,542 万円
○中小企業の育成振興を図るため融資制度を実施します	7,450 万円
○臥龍山荘、大洲城などの観光施設を管理するための経費です	9,544 万円
○各種観光事業を支援します	2,351 千円

当初予算

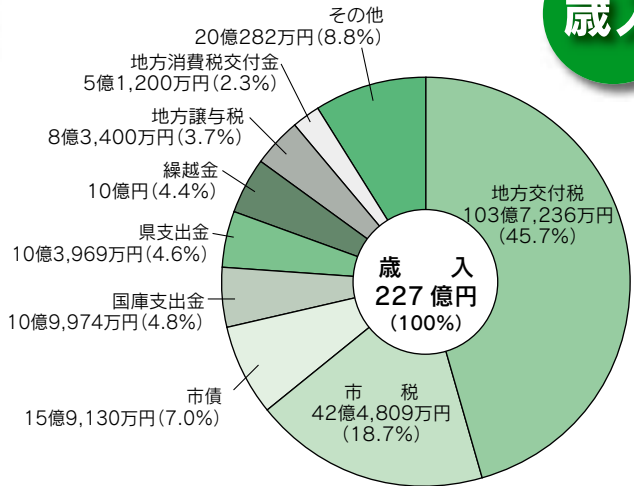
どのようなことにお金を使うか

歳出

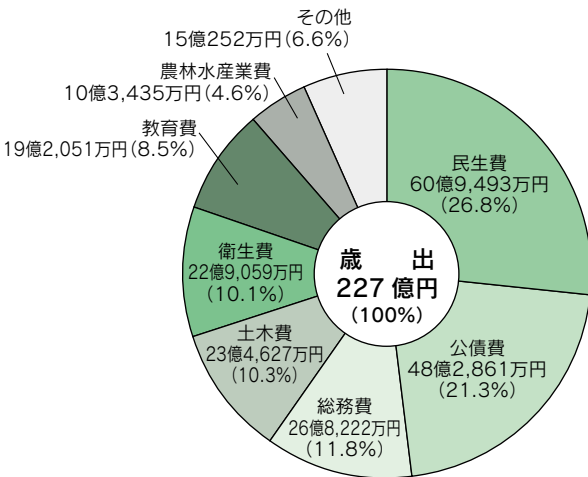


いくらお金が入ってくるか

歳入



どのような目的に対してお金をつかうか



今年度の一般会計予算

市の財政状況は、歳入の基本となる市税の著しい増加は見込めず、地方交付税についても国の財政再建路線の影響などにより、平成19年度以降の見通しが不透明な状況です。このため、経費全般について徹底した削減合理化を図ることとし、漫然と事業を継続することなく、事業の厳選と財源の重点配分を行い、財政の健全化

を最優先としながら、新大洲市づくりを進めるものとします。このようなことから、平成18年度を行政改革大綱等に基づく財政健全化に向けた実質的な初年度と位置づけ、人件費、補助金、一般行政経費等、歳出全般にわたり徹底した削減合理化を図り、財源の効率配分に努めた緊縮予算として編成しました。

教育費

- 小中学校に英語指導助手を派遣します 1,743万円
- 学校校務員を配置します(新規配置分) 540万円
- 非常通報装置を設置します 226万円
- アスベスト対策工事など小、中学校校舎を改修します 8,354万円
- 中学校スクールバスを更新します 522万円
- 市内の27公民館と18分館の管理運営経費です 3億1,155万円
- 新谷公民館喜多山分館を建設します 6,008万円
- 赤ちゃんと保護者に絵本を手渡すブックスタートを実施します 75万円
- ふれあい交流事業など地域学級講座を開催します 724万円

衛生費

- ごみの収集や環境センターを運営する経費です 5億8,032万円
- 環境センターの延命化工事を実施します 5,500万円
- 斎場の管理運営費です 3,354万円
- がん検診、健康診断(老人保健事業)を実施します 1億969万円

公債費

- 借入金の元利償還金です 48億2,815万円

消防費

- 消防団活動や設備など維持管理のための経費です 1億2,845万円
- 災害避難所表示看板を設置します 349万円
- 防災行政無線施設基本計画書を作成します 210万円
- 大洲市と内子町で構成する広域消防事務組合への負担金です 6億3,333万円

土木費

- 大洲市土地開発公社を支援します 1億3,400万円
- 市道の維持管理経費です 5,884万円
- 市道の新設改良事業を行います(単独分) 1億3,027万円
- 都市計画マスタープランを作成します 650万円
- ふれあいパークを整備します 3億3,475万円
- 八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合運動公園の野球場を改修します 1億16万円
- 住宅マスタープランを策定します 800万円
- 市営住宅の管理経費です 5,305千円
- 公共下水道事業会計への繰出金です 4億1,136万円